

「言葉のおくり物」

佐賀県 深町春菜

私が「今までで一番感動したことは？」と聞かれると、あの日のことを思い出す。それは、五年ほど前、私の兄が亡くなって数日後学校に行ったときのことだった。学校に来るまで、今日、一日をちゃんと過ごすことができるか心配だった。そんな心配をしながらも、学校に着いた。みんな、どんな反応をするのだろう、と思いながら教室のドアを開けると、今までの心配はもう、いらなかった。みんないつものように「おはよう」と言ってくれた。嬉しかった。それから、自分の席に座り、引き出しを見ると、友達からの手紙が入っていた。その友達に「ありがとう」と言って、手紙を読むと、こう書いてあった。

「(前略) べんきょうのときは、おにいちゃんのことをおもいだしたらなみだがでるからそのときはわすれてね。やすみじかんとかは、おもいだしておもいきりないていいよ。」

このときが私の一番感動したときだ。五年の月日を経て、今までの数々の感動を思い返してみても、このときが一番感動したときだった。この言葉のおかげで、どんなに苦しくなっても、つらくなっても、乗り越えられてきた。私は私らしく、すごせてこれた。だから今こそ、世界中のみんなに伝えたい。苦しんでいる人や悲しんでいる人、困っている人が自分の周りにいたら、自分が思う、優しい言葉を、あるいは行動でもいい。そっと、言葉をかけてあげて。行動してあげて。ちっぽけなことだと思うかもしれないけど、相手からしてみれば、頑張れたりするかもしれないから。こうやっていくうちに、どんどん優しさが広がって、笑顔の数がもっと増えていくことだろう。そしたら、いじめなんてなくなって、素晴らしい世の中になるはずだ。だから、私から友達へ。友達からいろんな人へ。言葉のおくり物をしたい。